



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月4日

上場会社名 アシードホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 9959 URL <https://www.aseed-hd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河本 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員経営企画グループ (氏名) 川崎 弘敬 TEL 084-923-5552

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|-----|------|-----|------|-----|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期第2四半期 | 11,122 | 9.7 | 635 | 1.0 | 774 | 3.7 | 514 | 14.1 |
| 2022年3月期第2四半期 | 10,142 | | 629 | | 746 | | 451 | |

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 624百万円 (28.6%) 2022年3月期第2四半期 485百万円 (%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期第2四半期 | 43.79 | |
| 2022年3月期第2四半期 | 36.43 | |

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。2022年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっているため、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年3月期第2四半期 | 16,081 | 5,668 | 35.3 | 481.70 |
| 2022年3月期 | 15,112 | 5,104 | 33.8 | 434.43 |

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 5,668百万円 2022年3月期 5,103百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期 | | 6.00 | | 6.00 | 12.00 |
| 2023年3月期 | | 8.00 | | | |
| 2023年3月期(予想) | | | | 8.00 | 16.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2023年3月期 第2四半期配当金、期末配当金の内訳: 普通配当 7円00銭、創立50周年記念配当 1円00銭

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|------|------|------|-----|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 20,000 | 3.7 | 820 | 26.7 | 920 | 1.8 | 600 | 236.0 | 49.24 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料P.8.「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|------------|--------------|------------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2023年3月期2Q | 13,495,248 株 | 2022年3月期 | 13,495,248 株 |
| 期末自己株式数 | 2023年3月期2Q | 1,726,963 株 | 2022年3月期 | 1,746,763 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2023年3月期2Q | 11,756,383 株 | 2022年3月期2Q | 12,386,868 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (会計方針の変更) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウクライナ情勢の悪化から原材料価格やエネルギー価格上昇の影響が続くなか、行動制限の緩和や世界経済の回復により、個人消費は明るさを取り戻してきました。

こうした状況の中、アシードグループの成長戦略の一環として、8月1日に株式会社河村農園を子会社化いたしました。「世界一美味しい健康茶」を作る思いで着実に成長してきた同社をグループに迎え、グループビジョン「ASEEDING THE FUTURE 人、地球、未来 ― すべての笑顔と健康のために」を実現するために、健康茶分野で新商品の共同開発を行うとともに、河村農園ブランドの強化を図ってまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高11,122百万円（前年同四半期比9.7%増）、営業利益635百万円（同1.0%増）、経常利益774百万円（同3.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益514百万円（同14.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載しております。

① 自販機運営リテイル事業

自販機オペレーター業界におきましては、天候にも恵まれ個人消費の回復兆しがみられるなかで、第1四半期に続いて売上高は前年同四半期を上回り、収益面でも改善を図ることが出来ました。引き続き自販機営業権の譲り受けや集客施設への新規設置推進により、設置台数を増強し売上増加を図ると共に、ルート効率の改善を通じて収益の増加を図ってまいります。

飲料ウェルネスにつきましては、7月にECサイト「アシードオンラインストア 楽天市場店」を開設するとともに、9月に愛媛県愛南町の方々と共同開発した「ASTER 愛南ゴールドのチューハイ」を新発売いたしました。名前になみゴールドに輝く缶デザインに、愛南ゴールドの特徴を活かした香りや味で好評いただいております。また同月に「ためして寒天 コーヒー味」も新発売し、ブランドの強化に取り組んでおります。

この結果、自販機運営リテイル事業の売上高は6,739百万円（前年同四半期比4.2%増）、セグメント利益は91百万円（同410.8%増）となりました。

② 飲料製造事業

飲料製造事業におきましては、OEM・ODM製造事業者としてブランドメーカーから厚い信頼を頂き、前年同四半期を上回る売上高を達成しました。足元では電力費や燃料費などエネルギー関連費用の高騰が続き、厳しい収益環境に置かれていますが、グループのノウハウを活かして商品の開発から生産までを行うODM運営に高い評価を得て、取引先拡大に結び付けております。

この結果、飲料製造事業の売上高は4,204百万円（前年同四半期比18.6%増）、セグメント利益は692百万円（同1.5%増）となりました。

③ 不動産運用事業

不動産運用事業におきましては、当社及びアオンズエステート株式会社を中心に所有不動産の運用を行っており、不動産運用事業による売上高は68百万円（前年同四半期比1.8%減）、セグメント利益は103百万円（同1.2%減）となりました。

なお、売上高はセグメント間の内部売上高109百万円を含めると177百万円となります。

④ その他事業

その他事業として物流・環境事業を運営するロジックイノベーション株式会社は、両事業の収益基盤拡大に取り組むと共に、将来に向けたグループ全体の物流効率化に着手しています。

この結果、その他事業の売上高は110百万円（前年同四半期比78.8%増）、セグメント損失は6百万円（前年同四半期は10百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は6,227百万円となり、前連結会計年度末に比べ696百万円増加いたしました。これは現金及び預金の増加970百万円、受取手形及び売掛金の減少435百万円、商品及び製品の増加68百万円、前払費用の増加36百万円及びその他の増加32百万円等によるものです。また、固定資産は9,853百万円となり、前連結会計年度末に比べ271百万円増加いたしました。これは機械装置及び運搬具(純額)の減少84百万円、建設仮勘定の増加217百万円、のれんの増加124百万円、投資有価証券の増加105百万円及び長期前払費用の減少52百万円等によるものです。

この結果、総資産は16,081百万円となり、前連結会計年度末に比べ968百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は8,431百万円となり、前連結会計年度末に比べ753百万円増加いたしました。これは買掛金の増加97百万円、短期借入金の増加615百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少80百万円、リース債務の減少45百万円、未払消費税等の増加53百万円、未払酒税の増加59百万円及びその他の増加33百万円等によるものです。また、固定負債は1,980百万円となり、前連結会計年度末に比べ349百万円減少いたしました。これは長期借入金の減少264百万円、リース債務の減少38百万円及びその他の減少51百万円等によるものです。

この結果、負債合計は10,412百万円となり、前連結会計年度末に比べ403百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は5,668百万円となり、前連結会計年度末に比べ564百万円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益による増加514百万円、剰余金の配当による減少70百万円及び為替換算調整勘定の増加110百万円等によるものです。

この結果、自己資本比率は35.3%（前連結会計年度末は33.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月13日「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 904 | 1,875 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,378 | 1,942 |
| 商品及び製品 | 1,286 | 1,355 |
| 原材料及び貯蔵品 | 208 | 230 |
| 前払費用 | 225 | 262 |
| その他 | 532 | 565 |
| 貸倒引当金 | △4 | △3 |
| 流動資産合計 | 5,531 | 6,227 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,698 | 1,699 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 1,470 | 1,385 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 50 | 46 |
| 土地 | 3,837 | 3,849 |
| リース資産(純額) | 432 | 417 |
| 建設仮勘定 | 196 | 413 |
| 有形固定資産合計 | 7,685 | 7,812 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 73 | 197 |
| ソフトウェア | 35 | 47 |
| リース資産 | 22 | 19 |
| その他 | 24 | 24 |
| 無形固定資産合計 | 156 | 289 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 939 | 1,044 |
| 長期前払費用 | 311 | 259 |
| 繰延税金資産 | 65 | 60 |
| その他 | 478 | 429 |
| 貸倒引当金 | △54 | △42 |
| 投資その他の資産合計 | 1,739 | 1,751 |
| 固定資産合計 | 9,581 | 9,853 |
| 資産合計 | 15,112 | 16,081 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 2,548 | 2,645 |
| 短期借入金 | 2,480 | 3,095 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 690 | 610 |
| リース債務 | 296 | 251 |
| 未払金 | 624 | 620 |
| 未払法人税等 | 205 | 223 |
| 未払消費税等 | 86 | 140 |
| 賞与引当金 | 126 | 132 |
| 未払酒税 | 433 | 492 |
| その他 | 187 | 220 |
| 流動負債合計 | 7,678 | 8,431 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,608 | 1,343 |
| リース債務 | 352 | 314 |
| 退職給付に係る負債 | 133 | 139 |
| その他 | 234 | 182 |
| 固定負債合計 | 2,330 | 1,980 |
| 負債合計 | 10,008 | 10,412 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 798 | 798 |
| 資本剰余金 | 1,012 | 1,012 |
| 利益剰余金 | 4,611 | 5,056 |
| 自己株式 | △910 | △900 |
| 株主資本合計 | 5,512 | 5,966 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 28 | 28 |
| 土地再評価差額金 | △465 | △465 |
| 為替換算調整勘定 | 29 | 139 |
| その他の包括利益累計額合計 | △408 | △297 |
| 新株予約権 | 0 | — |
| 純資産合計 | 5,104 | 5,668 |
| 負債純資産合計 | 15,112 | 16,081 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 10,142 | 11,122 |
| 売上原価 | 5,931 | 6,765 |
| 売上総利益 | 4,211 | 4,356 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,582 | 3,721 |
| 営業利益 | 629 | 635 |
| 営業外収益 | | |
| 持分法による投資利益 | 42 | 82 |
| 投資事業組合運用益 | 27 | 9 |
| 助成金収入 | 35 | 33 |
| 為替差益 | 0 | 15 |
| その他 | 43 | 52 |
| 営業外収益合計 | 149 | 192 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 19 | 16 |
| 支払補償費 | — | 14 |
| その他 | 12 | 22 |
| 営業外費用合計 | 32 | 54 |
| 経常利益 | 746 | 774 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 1 | 6 |
| 投資有価証券評価損 | 3 | — |
| 持分変動損失 | — | 14 |
| 特別損失合計 | 4 | 20 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 742 | 753 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 269 | 232 |
| 法人税等調整額 | 21 | 6 |
| 法人税等合計 | 290 | 238 |
| 四半期純利益 | 451 | 514 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 451 | 514 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 451 | 514 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △1 | 0 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 35 | 110 |
| その他の包括利益合計 | 34 | 110 |
| 四半期包括利益 | 485 | 624 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 485 | 624 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|-----------------|------------|---------|----------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 自販機運営 リテイル事業 | 飲料製造 事業 | 不動産運用事業 | その他事業 (注) 3 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 6,466 | 3,544 | 69 | 61 | 10,142 | - | 10,142 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 4 | 251 | 109 | 34 | 399 | △399 | - |
| 計 | 6,470 | 3,796 | 179 | 96 | 10,542 | △399 | 10,142 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 17 | 682 | 104 | 10 | 814 | △185 | 629 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△185百万円には、セグメント間取引消去17百万円、のれんの償却額0百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△203百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他事業はアシードロジスティクスセンターにおける物流事業であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

自販機運営リテイル事業において、当社の子会社である北関東ペプシコーラ販売株式会社が株式会社いじまの全株式を取得し子会社化したことにより、新たにのれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において50百万円であります。

その他事業において、当社がロジックイノベーション株式会社の全株式を取得し子会社化したことにより、新たにのれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において33百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|-----------------|------------|---------|----------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 自販機運営 リテイル事業 | 飲料製造 事業 | 不動産運用事業 | その他事業 (注) 3 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 6,739 | 4,204 | 68 | 110 | 11,122 | — | 11,122 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 7 | 229 | 109 | 17 | 364 | △364 | — |
| 計 | 6,747 | 4,433 | 177 | 128 | 11,487 | △364 | 11,122 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 91 | 692 | 103 | △6 | 881 | △245 | 635 |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△245百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、のれんの償却額0百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△246百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他事業は倉庫・物流・環境事業であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

飲料製造事業において、株式会社河村農園の全株式を取得し子会社化したことにより、新たにのれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において131百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。